



### 和綿（わわた）の栽培 ～ 綿織物産地 浜松 ～

蜷塚公園内の古民家「旧高山家住宅」に隣接した場所に小さな畑があります。この畑では毎年和綿の栽培を行っています。栽培の始まりは平成二十（二〇〇八）年。「NPO法人ガウ紡愛好会」の協力を得て、日本で特に江戸時代から盛んに栽培されていた品種の和綿を種から育て、綿から糸を紡いで、布を織るという体験講座を企画したことがきっかけです。現在は浜松市博物館のボランティア団体「和綿の会」が中心となって栽培が続けられています。



畑の様子  
7月中旬撮影



日本への綿の伝来に関しては、平安時代初期の延暦十八（七九九）年に三河に漂着した崑崙人（こんろんじん）現在の東南アジア地域の人か）が綿の種を伝え、翌年、紀伊・淡路・阿波・讃岐・伊予・土佐・大宰府に配布して植えさせたが、どれも根付かなかったという記事が『日本後紀』にあります。その後、本格的に日本各地で栽培が始まったのは十六世紀前後からだといわれています。

ここ遠州地方は、泉州、三州と並び、日本三大綿織物産地として知られています。日照時間が長く、温暖な気候であることや、天竜川の豊かな水のおかげで、古くから綿栽培が盛んな地域でした。また江戸時代になると浜松藩主・井上正春の奨励もあり、閑散期の農家の副業として、綿織物が織られるようになりました。笠井では市がたち、地方的なものでしたが綿織物が取引され笠井縞（かさいじま）と呼ばれていました。その後、紡績機、織機の発展・普及や国内の需要増などにもない綿糸・綿織物の生産量は増大し、取引市場も拡大し、遠州の綿織物は全国へと広がっていききました。

公園内での和綿の栽培は順調に進んでいます。現在、しぼんだ花のつけ根に種の入った綿の桃がではじめています。九月になると綿の桃がさらに大きくなり、割れて中から白い綿が出てきます。綿が下がってきて、ふっくらとしてきたら摘み時です。

浜松市博物館では、ここで摘み取った和綿を用いて綿線や糸車を使っての糸紡ぎの体験を計画しています。浜北文化センター内の市民ミュージアム浜北でも同様の体験することが出来ます。博物館受付カウンターでは遠州木綿のハンカチや巾着袋を販売しています。こ来館の際におひとついかがでしょうか。



遠州木綿のハンカチ・巾着袋

## 【博物館所蔵資料の紹介】

# 綿から糸をつくる(綿繰・糸車)

綿繰



### ① 綿繰

収穫した綿を天日で数日乾燥させた後、種と綿を分ける工程に入ります。その際に使われた道具が綿繰です。綿繰は、小型のもので座って使用するものと大型のもので腰掛にかけて使用するものがあります。博物館には写真のような小型のものが展示されています。取手を回転させて、木のローラーの間へ手前から綿を少しずつ通していくと手前に種が残り向こう側へ綿の繊維だけが通っていきます。この分けられた綿を繰綿といいます。

糸車



### ② 糸車

繰綿を槌つちと綿打弓わたうちゆみを使ってほぐし、棒に綿を巻き込んで綿の棒(ヨリコ)を作った後、糸車を使って撚りをかけながら糸にしていきます。この工程を「糸紡ぎ」、「糸引き」などといいます。右手で糸車を回し、回転の状態を見ながら左手で持ったヨリコを少しずつ後ろに引き、糸を引き出していきます。出来上がった糸は糸車を逆回転させて糸車のツムに巻きつけていきます。この工程は特に熟練を要します。

## 催し物のご案内

### ★テーマ展「あかりの道具」

開催中 ～ 9月27日(日)

暮らしと密接している「あかり」を、道具の変遷や人々の暮らしとともに探っていきます。

### ☆ギャラリートーク

9月13日(土) 14:00～



### ★夏休み体験館

開催中～ 8月23日(日)

クイズラリー 期間中毎日

万華鏡づくり 8/17(月)～22(土)

《土・日限定》

※21(金)は除く

オリジナルまが玉づくり

8/15、16、22、23

《日曜限定》

自由研究個別相談 8/16

火おこし体験 8/16・23

《県民の日特別体験 はまはく夏祭り》 8/21(金)

しじみやのくじ引き

綿くり・糸車体験

化石発掘体験

### ★しじみ村のお月見会

9月27日(日) 15:30～18:00

紙芝居、しじみやのくじ引き

サクソフォン・電子オルガンの演奏

※各イベントの内容、定員、参加費など詳細はホームページ、SNSでご確認ください。

※イベントは、変更・中止になる場合があります。

浜松市博物館

開館時間：9時～17時

〒432-8018 静岡県浜松市中区蛸塚四丁目22番1号

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

8・9月の休館日：8/24, 31, 9/7, 14, 23, 28

電話：053-456-2208

FAX：053-456-2275

HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/